

平成24年度第2回小牧市立図書館選書委員会会議録

- 1 開催日時 平成24年11月16日(金)
午後3時～午後5時
- 2 開催場所 小牧市立図書館 1階 集会室
- 3 出席者 会長 多田 昭子
副会長 大間知 千鶴子
委員 森 勝昭
〃 舟橋 尚女
欠席者 委員 木村 芳博
〃 中川 裕子
事務局 山田館長
永井補佐
渥美係長
花里主任

- 4 議題 (1) 選書について
(2) その他について

- 5 会議資料 選書資料

- 6 議事内容
(1) 選書について

選書資料1 『和家具 復刻版』について
【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料2 『市井展の全貌』について
【事務局】 不可が4ですので、購入不可とします。

選書資料3 『むかしをいまに』について
【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料4 『ビルマ仏教遺跡』について
【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料5 『円朝全集 全13巻 別巻2』について

【事務局】 可1、不可1、保留2ですのでご協議をお願いします。

【委員】 所蔵を見ると全集はたくさんある。が、新しいものはないが、値段高いので迷って保留にした。

【委員】 確かに高いたくさんあるが、新しいものはない。面白いものはみんな読んでみたいのではと思った。棚の飾りものではなくて、利用があるのではないかと考えて可にした。

【委員】 私は、不可にした。「円朝全集全13巻別巻2」ですが、類書もあって面白いと思うが、私の価値基準でいうと10万円超えると言う事と、もう一つは活字を追うという事は、知識を得るものの一つの方法ではあるが、今やオーディオの時代で、インストゥールすればすぐに舞台上でやっている表情から、学ぶことができる時代になってきている。そういう時代に、対応していくものでなければならないと思う。今は過渡期に来ている。そういう意味からいうと、こういう本は少しずつ止めていって、他の手段で知識を得るような、メディアの選択をしていく方向性があっていいと思う。

【委員】 そういう意見もあるが、活字を読むというのはやはり違う。インターネットで検索する前に、こういうものを見て面白そうだなと思って、それから検索するかもしれない。活字で読むというのは、今の時代だからこそ大事である。

【委員】 私も「上野鈴本」へ行って聞く機会がありました。聞くと言う事は、全体の舞台のおはやしがあって高座に座って一礼してしゃべるそれが「落語」で、そういう意味から言うと、たとえば、東北の「語り部」が語られる事を、活字にしたものを読むという事と「芸」という事とは、全く違う。活字にしてあっても、面白くて娯楽性があるというのはそのとおりだが、図書館として購入するには、時代的に舵をきっていくべきだと思う。まったくいけないという事ではないが。

【委員】 意見を聞いているとそうかなとも思う。

【委員】 浅草などの本物の寄席に行って、聞くのは本当に面白い。ラジオなどとは全然違う。これは、落語の古典になっているようなもの。どうしても買って欲しいというわけではないが、あってもよいと思う。よく知っている古典のほかに、こういう古典もあるという事を知ることができる。

【委員】 落語の好きな人が、家で聞いて読んでイメージーションするのが面白いかなとおもった。新しい図書館になる時に選んで入れてもいいと思った。

- 【委員】 あまり、利用されることはないかもしれない。
- 【委員】 古いが一応全集を所蔵している。
- 【事務局】 記録の資料として保存する意味はあるかもしれない。
- 【事務局】 事務局判断にします。

選書資料6 『マクシマス詩篇』について

- 【事務局】 不可1、保留3ですのでご協議をお願いします。
- 【委員】 マクシマスは判らない。評価までいかない。
- 【委員】 今までの知識の中で、判断できない。
- 【委員】 不可ともいえない。解釈が難しい。
- 【委員】 有名な人か。有名ならいいという事でもないが、よくわからない。
- 【委員】 不可に近い保留です。
- 【事務局】 「マクシマス」は造語で実在人物ではない。もともとアメリカの詩の関係本で、単語「マクシマム」は最大とか一番上とかの意味ですが、それを造語にしたもの。
- 【委員】 保留にしたが不可にします。
- 【事務局】 購入不可という事にします。

選書資料7 『サド侯爵の生涯 全3巻』について

- 【事務局】 可2、不可1、保留が1ですので、ご協議をお願いします。
- 【委員】 あまりにも有名。私は興味がある。この人の生涯を描いたもの。
- 【委員】 保留にしたが、所蔵している本（「悪徳の栄え」角川文庫）が古いので可にします。
- 【事務局】 では、可多数で購入とします。

選書資料8 『永遠の日本白川義員作品集 全1巻』について

- 【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料9 『江戸のイラスト辞典 訓蒙図彙』について

- 【事務局】 可2、保留2ですのでご協議をお願いします。
- 【委員】 保留にした。可の委員の意見が聞きたいです。
- 【委員】 私は可にした。よくわからないがイラストそのものがユニークで面白い。直線より曲線が非常に多くみられて、アジア的なものが出てくることもあり、見ていると面白いのではないかと思う。造形が深いわけではない。
- 【委員】 可にした。手に取って見たら面白い。今イラストが盛んで、こう

いう図彙とかイラストなんかの古いものでも、現代に生かせるヒントになる可能性がある。「訓蒙図彙」という言葉は全然知らないが、面白いと思った。値段も安い。

【委員】 風俗も解るかもしれない。

【委員】 絵としてはあまり良くないが、こんなふうに江戸の人は捉えていたという事がわかる。

【委員】 所蔵されている1冊は、江戸時代じゃない。保留にした。評価項目は3にしたが、利用度はわからないと思って、判断しかねて保留にした。確かに江戸時代の人が、どういう風にかけていたんだろうと考えるとすると、興味が湧く人もいると思う。値段も安いし、みなさんの意見も加味して、可にします。

【事務局】 可が3で購入とします。

選書資料10 『鉱物資源データブック』について

【事務局】 不可3、保留が1ですので、購入不可とします。